

アカゲザル防除通信

(2701号)



アカゲザル等防除連絡会
千葉県自然保護課

(平成28年2月8日発行)

千葉県では、房総半島南部に生息している特定外来生物のアカゲザルについて、防除実施計画を策定し、野外からの完全排除を目指して捕獲を行っています。
この通信を通じて、防除事業の状況等について地域の皆様にお知らせしていきます。

☆平成26年度の捕獲等の状況

- 平成26年度は215頭を除去しました。
- これまで捕獲用の大型オリのなかった東側地域※に大型オリを1基設置しました。
※地域区分については裏面をご覧ください。

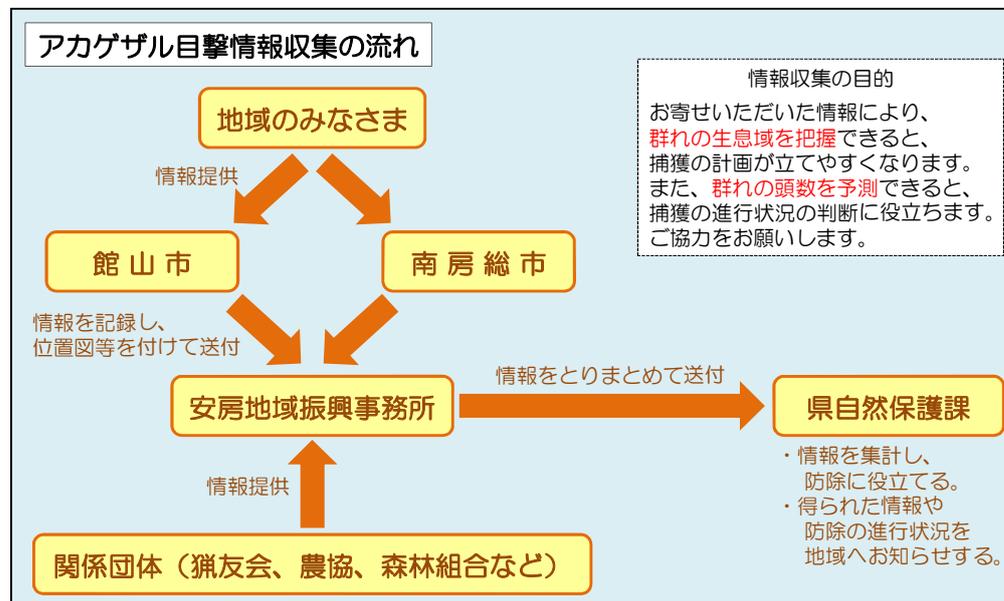
年度	除去数	大型オリの設置数
H17	2頭	2基
H18	11頭	3基(新設1基)
H19	112頭	4基(新設2基、廃止1基)
H20	235頭	5基(新設1基)
H21	267頭	5基
H22	110頭	5基
H23	240頭	6基(新設1基)
H24	354頭	6基
H25	102頭	5基(廃止1基)
H26	215頭	6基(新設1基)
	累計1,648頭	現在6基設置中

☆平成27年度の捕獲等の状況(中間報告)

- 7月に、昨年度に新設した大型オリで初の捕獲があり、45頭を除去しました。
- 9月に、アカゲザル等防除連絡会会議が開催されました。

安房地域振興事務所において、農協、森林組合、猟友会、観光公社などの関係団体及び県、市の担当者など20名が出席して会議が開催されました。

会議では、県担当者から昨年度の事業の結果と今年度の事業の内容を説明しました。また、目撃情報収集の流れを再確認しました。



☆アカゲザルの目撃情報をお寄せください

群れの生息域や頭数を把握し防除に役立てることを目的としています。

○ お寄せいただきたい情報

- ① 目撃した日付・時間帯
- ② 目撃した場所
- ③ 頭数
- ④ 子ザルの有無、声の有無（群れかどうかの判断に役立ちます。）
確認できれば、首に電波発信器*が装着されていたか。
(※発信機は小さい飲料缶ぐらいの大きさで、カラーテープが巻いてあります。)

その他、下記について分かると群れの加害レベルの判断に役立ちます。

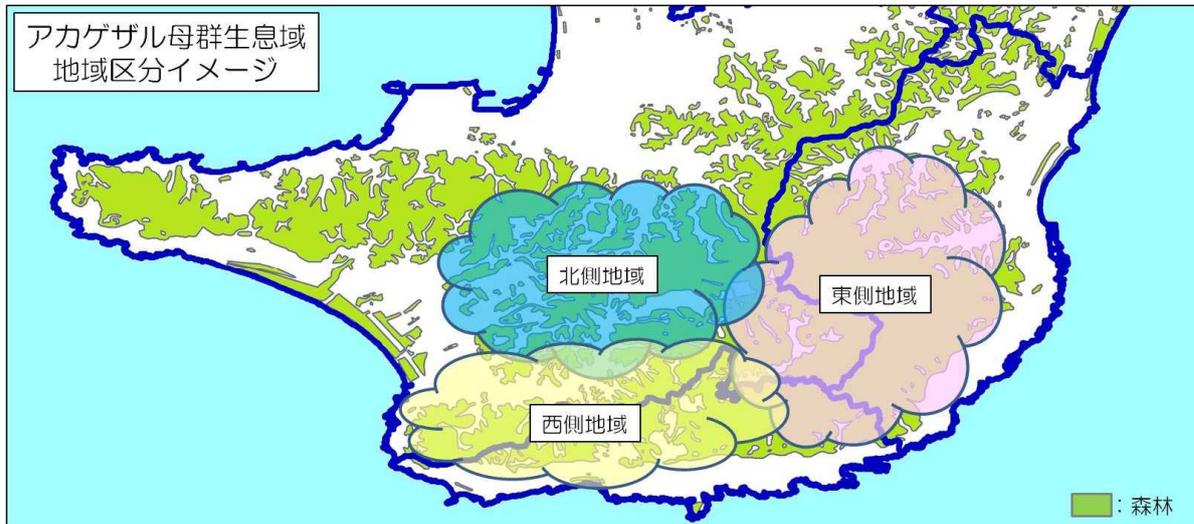
- ・目撃したサルが何をしていたか
(何かを食べていた場合は種類や量、防護柵の有無など)
- ・目撃したサルの人への態度
(人に気づいて逃げた、近づいても逃げない、追いかけてくるなど)

○ 特に、北側地域および東側地域の群れの情報が不足しています。

西側地域は、最初に事業を開始した地域で、他地域よりも捕獲や調査が進んでいます。

東側地域は、森が深く道が少ないため、捕獲や調査が難行している地域です。

北側地域は、今年度優先的に調査した地域で、今後捕獲を強化しようとしています。



北側地域：神余以北のイメージ。作名ダム周辺、東長田、西長田、出野尾など。
東側地域：横渚・曲田・畑の以東。大井倉、岡瀬田を含む地域のイメージ。

このチラシに関する問合せ先

千葉県環境生活部自然保護課鳥獣対策班

043 (223) 2936

アカゲザルの目撃情報、被害状況の連絡や防護柵についての問合せ先

館山市にお住まいの方：館山市農水産課

0470 (22) 3397

南房総市にお住まいの方：南房総市農林水産課

0470 (33) 1071

